



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	104,629	△3.1	6,622	△6.5	6,831	△6.5	4,203	△7.2
2022年3月期第2四半期	107,975	—	7,086	—	7,304	—	4,531	—

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、当該基準等適用前の実績値に対する増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	147.18	—
2022年3月期第2四半期	158.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	240,177	161,160	67.1	5,642.37
2022年3月期	233,075	157,763	67.7	5,523.42

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 161,160百万円 2022年3月期 157,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2023年3月期	—	28.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,100	0.8	12,800	6.6	13,200	5.0	8,000	0.5	280.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	29,784,400株	2022年3月期	29,784,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	1,221,812株	2022年3月期	1,221,812株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	28,562,588株	2022年3月期2Q	28,562,588株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	9
(1) 商品部門別販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束見通しが立たない中、エネルギー価格高騰、急激な円安の進行などにより、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、エネルギー価格高騰に加え原材料価格の上昇や物価上昇により、個人消費回復の見通しが立たず、依然として厳しい経営環境が続いております。

営業の概況としましては、当会計期間の前半が好天にも恵まれ主力の園芸用品が好調だったほか、例年より早く梅雨明けしたことで夏商材の販売が好調でした。また一方で、過去最大の感染者数となった新型コロナウイルス感染症第7波の流行により客数が伸び悩み中、感染対策に関連するマスク等の衛生用品は堅調に推移したものの、飛散防止パネルや在宅勤務需要商品の需要減もあり、厳しい結果となりました。

売上総利益については、売上高減少により金額は減少となりましたが、各セグメントでPB比率が向上したことにより、売上高に対する比率は若干の増加となりました。販売一般管理費については、コロナ禍において抑えていた販促を徐々に再開したことで広告宣伝費が増加し、また電気代高騰の影響を受けております水道光熱費が大きく上昇していますが、物流費の改善効果もあり、前期を下回る結果に抑えております。

また、店舗展開については、3店舗の新設、2店舗の増床改装、1店舗の閉鎖を行い、当第2四半期会計期間末における店舗数は34府県にわたる361店舗となりました。

これらの結果、売上高は1,046億29百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は66億22百万円(前年同期比6.5%減)、経常利益は68億31百万円(前年同期比6.5%減)、四半期純利益は42億3百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

(セグメント別状況)

①資材・DIY・園芸用品

主力の園芸用品では除草剤や刈払機などの除草対策商品が好調に推移しております。また、度重なる台風により災害対策商材や補修商材などの販売が好調でしたが、木材や工具等が不振で、厳しい結果となりました。その結果、売上高は512億17百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

②生活用品

例年より早く梅雨明けし、扇風機やエアコンを始めとした夏商材が好調でしたが、アルコール除菌商材などを始め日用品が苦戦いたしました。その結果、売上高は262億55百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

③家具・ホームファッション用品

ベッドが好調でしたが、収納用品などが苦戦いたしました。その結果、売上高は189億42百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

④その他

電動自転車やスポーツバイクなど自転車部門が好調でしたが、ペット部門が苦戦いたしました。その結果、売上高は82億13百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、2,401億77百万円（前事業年度末比71億1百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比48億14百万円増）、商品の増加（前事業年度末比19億87百万円増）などによるものです。

負債は、790億16百万円（前事業年度末比37億3百万円増）となりました。増加の主な要因は、未払法人税等の増加（前事業年度末比22億32百万円増）などによるものです。

純資産は、1,611億60百万円（前事業年度末比33億97百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比34億4百万円増）などによるものです。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、359億78百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、85億38百万円（前年同期比で85億51百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益66億72百万円、減価償却費27億28百万円に対し、棚卸資産の増加額19億91百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、16億36百万円（前年同期比で8億88百万円の減少）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億77百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、21億41百万円（前年同期比で2億77百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額7億99百万円、リース債務の返済による支出6億61百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年4月28日に公表した決算短信の業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,111	38,925
売掛金	3,901	3,934
商品	60,845	62,833
その他	1,889	1,788
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	100,744	107,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	65,853	65,852
土地	48,515	48,515
建設仮勘定	171	539
その他(純額)	4,017	3,979
有形固定資産合計	118,557	118,886
無形固定資産	3,372	3,411
投資その他の資産	10,401	10,401
固定資産合計	132,331	132,699
資産合計	233,075	240,177
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,038	29,054
短期借入金	19,585	19,255
1年内返済予定の長期借入金	599	299
未払法人税等	517	2,749
未払金	3,567	4,358
設備関係支払手形	1,758	2,255
賞与引当金	1,043	1,080
役員賞与引当金	28	—
契約負債	3,209	3,299
その他	3,195	3,742
流動負債合計	62,545	66,095
固定負債		
長期借入金	108	58
退職給付引当金	3,063	3,046
役員退職慰労引当金	384	397
資産除去債務	6,074	6,322
その他	3,136	3,096
固定負債合計	12,767	12,920
負債合計	75,312	79,016

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	152,268	155,673
自己株式	△2,351	△2,351
株主資本合計	157,679	161,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83	77
評価・換算差額等合計	83	77
純資産合計	157,763	161,160
負債純資産合計	233,075	240,177

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	107,975	104,629
売上原価	70,446	68,116
売上総利益	37,529	36,512
営業収入	160	189
営業総利益	37,689	36,701
販売費及び一般管理費	30,603	30,078
営業利益	7,086	6,622
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	9
受取手数料	62	57
受取家賃	256	261
受取保険金	51	31
その他	71	65
営業外収益合計	449	425
営業外費用		
支払利息	57	53
不動産賃貸原価	105	108
災害による損失	50	43
その他	18	10
営業外費用合計	231	216
経常利益	7,304	6,831
特別損失		
固定資産除却損	40	53
減損損失	—	53
システム障害対応費用	—	51
その他	2	—
特別損失合計	42	159
税引前四半期純利益	7,261	6,672
法人税等	2,730	2,468
四半期純利益	4,531	4,203

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	7,261	6,672
減価償却費	2,774	2,728
減損損失	—	53
無形固定資産償却費	101	121
長期前払費用償却額	28	27
有形固定資産除却損	40	53
その他の特別損益(△は益)	2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12	△16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	12
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△28
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	36
受取利息及び受取配当金	△7	△9
支払利息	57	53
売上債権の増減額(△は増加)	△198	△78
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,934	△1,991
仕入債務の増減額(△は減少)	△440	15
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,424	966
その他の資産の増減額(△は増加)	△157	△54
その他の負債の増減額(△は減少)	△655	300
その他	5	13
小計	5,456	8,877
利息及び配当金の受取額	7	9
利息の支払額	△56	△53
法人税等の支払額	△5,420	△296
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	8,538

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,427	△1,477
無形固定資産の取得による支出	△36	△19
固定資産の除却による支出	△39	△50
資産除去債務の履行による支出	△24	—
敷金及び保証金の差入による支出	△31	△24
敷金及び保証金の回収による収入	89	17
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△55	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,525	△1,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△330	△330
長期借入金の返済による支出	△734	△349
リース債務の返済による支出	△583	△661
配当金の支払額	△770	△799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,418	△2,141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,958	4,760
現金及び現金同等物の期首残高	38,091	31,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,132	35,978

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日) (至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日) (至 2022年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	52,362	48.5	51,217	49.0	97.8
生活用品	27,055	25.1	26,255	25.1	97.0
家具・ホームファッション用品	20,049	18.6	18,942	18.1	94.5
その他	8,507	7.8	8,213	7.8	96.5
計	107,975	100.0	104,629	100.0	96.9

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリー、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他